

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市学校保健会
2 開催日時	平成31年2月25日(月) 13:30~14:30
3 開催場所	河内長野市役所 7階 行政委員会室
4 会議の概要	①30年度学校保健行事の報告 ②今年度の取り組み(各部会より) ③食物アレルギーガイドラインについて ④平成31年度学校保健行事について ⑤その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開 (一部個人情報を扱う時には非公開)
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 子ども未来部 教育指導課 (内線 747)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 平成 30 年度 第 2 回河内長野市学校保健会 (報告)

- 平成 31 年 2 月 25 日 (月) 13:30～
- 河内長野市役所 7 階 行政委員会室
- 出席者・・ 篤田委員 (会長) 古谷委員 (副会長)、泉谷委員、飯谷委員、中林委員  
牧野委員、築瀬委員、成山委員、永井委員、西田委員、林委員、片岡委員  
渡辺委員、<事務局: 安田、坂本、小関>

### 議 題

#### ① 平成 30 年度学校保健事業について

##### ○学校保健研修会について (担当: 歯科医師会)

- ・演題「成長曲線が教えてくれること」講師: 大阪大学 大幡泰久助教
- ・参加者 61 名

##### ○成長曲線について

- ・今年度は、市医師会小児科医師の協力のもと、6 月と 10 月に学校から提出された成長曲線の判読をしていただき、「要受診」「経過観察」を抽出する。  
(6 月対象 小学校 580 名、中学校 689 名)
- ・従来の内科検診以上の疾患等が見つかった。
- ・学年別の精検結果があれば、判読の妥当性等検証できるので、学年別のデータもあればよい (泉谷委員)

##### ○インフルエンザによる臨時休業状況について

- ・今年度臨時休業をした学級数は、のべ 49 学級 (2/25 現在) 昨年度は 3/1 で 97 学級であった。

#### ② 今年度の各 (部) 会の取組みについて (三師会・各部会より報告)

= 医師会 (泉谷委員・飯谷委員) =

##### ○成長曲線について

- ・本人を診察して、結果を出しているわけではないので、何年か続けてみて、受診結果と照らし合わせ検証していく。

##### ○運動器検診について

- ・受診の勧告を受け、内科を受診してくる場合があるので、整形外科を勧めるようにする。

##### ○感染症について (インフルエンザ) 資料参照

- ・今年度は、ほとんどがインフルエンザ A 型が流行。大阪府内の定点報告数をみると、学校で現在臨時休業がされていないように患者数が減ってきている。  
今年度は大きな流行にはならなかったようだ。

##### ○感染症について (麻疹) 資料参照

- ・今年に入って、2/17 までに 81 名の患者
- ・10 代~40 代に多く発生
- ・予防接種歴がない・不明の人が多く、2 回接種の人は、軽症で 2 次感染例がない。

##### ○感染症について (風疹) 資料参照

- ・風疹ワクチン (麻疹・風疹ワクチンを含めて)  
河内長野市は助成制度がある。(妊娠を希望する女性・その配偶者、妊娠している女性の配偶者)

○感染症について（百日咳）資料参照

- ・患者は6か月未満、7歳をピークとした5~15歳、30~40歳代に集積あり。
- ・6か月未満の場合、重症化することが多い。
- ・特徴的な咳（ヒューヒュー、長く続く）があれば、注意する。

=歯科医師会（牧野委員）=

- 学校歯科医として新しく担当することになった歯科医へ講習やヒヤリングをしている。
- むし歯、歯周病は減ってきているが、受診勧告後の受診率が横ばいまたは、下がっている学校もある。
- 学校で成長曲線から成長を見ることに取り組んでいることは、府内でも少なく意義あることだと思う。歯列矯正も、一人一人の骨格の成長に合わせたものにしたい。
- 保健室も養護教諭が一人では、業務が多く多忙である。複数いるのではないか。

=薬剤師会（築瀬委員・成山委員）=

- 環境衛生検査結果報告（秋の飲料水・照度検査）
  - 飲料水検査 ・各校異常なし
  - 照度検査 ・全体的に暗い（300 l u x以下）  
10年前なら基準値内ではあったが基準が変わっているため。

=保健主事会（渡辺委員）=

- 資料参照
- 秋の研究集会で、「大切ないのちを守る」~現場で役立つ応急手当~として研修をした。  
救命救急士、インストラクターの講師から応急手当について学び、食物アレルギー、溺水外傷時のロールプレイをし、学びを深めた。

=養護教諭（林委員）=

- 資料参照
- 小学校部会は「からだや性に関する指導」、中学校は性に関する指導の実践や情報共有を中心にを行い、研修会も実施した。

=富田林保健所（永井委員）=

- 情報提供
  - ・インフルエンザは、先週半ばに定点あたりの発生数が10を下回り、警報レベル切った。

③ 「学校生活における食物アレルギーガイドラインについて（素案）」

- 市立学校における食物アレルギー対応は、次の3つを基本方針とする。
  - ・食物アレルギーのある児童生徒の正確な情報の把握と共有をすること。
- そのため対応委員会を設置し、文部科学省・大阪府教育庁のガイドラインにあるように、保護者の申し出のみでの対応ではなく、医師による「学校生活管理指導表」に基づく対応とすることとする。
  - ・マニュアルにもとづき、すべての職員が対応できるようにし、事故の予防を組織で行う

こと。

- ・緊急時には迅速で正確な対応できるようにすること。

○大阪府のガイドラインとこのガイドラインの違うところはどこか。(泉谷委員)

- ・給食についての除去食対応がないことについて、本市での対応を入れている。

○食物アレルギー事故は起こっているのか。(牧野委員)

- ・何件か誤食があった。どれも大きな事故には至っていない。

○新しい給食メニューに原因食物が入っているかどうか分かりにくく、給食センターに問い合わせることで、誤食を防ぐことができたことがあった。(西田委員)

④ 平成 31 年度学校保健行事について

○現在、定期健康診断予定作成中

⑤ その他

○職員の麻しんの罹患状況、予防接種状況はどうか。(泉谷委員)

平時の対応を考えておく方がよい。

○H31 年度三師会の担当について (資料あり)

- ・学校薬剤師会が輪番で、副会長と学校保健会研修会段取りをお願いすること。